



津山の人・物・技術  
など、明日誰かに自慢  
したくなる津山のいい  
ところを紹介します

**ええとこ  
いっぱい** 津山 **自慢**

岡山県初のライン引き工事専門事業者  
**山陽ロード工業株式会社**  
(下高倉西)

道路のライン工事や橋などの整備を手掛ける山陽ロード工業。令和3・4年度には、国土交通省中国地方整備局から県北地域で唯一、工事成績優秀企業認定を受けています。代表取締役の秋田英次さんに、取り組みや思いを聞きました。

**創業のきっかけ**  
舗装道路がまだ珍しかった1960年頃、道路のラインは警察官が自ら引いていました。それを見たわたしの祖父が、個人でライン引きを請け負ったのが事業の始まりで、1967年に会社を設立しました。当時は自動車の普及とともに交通事故も増えていて、人々の命を守りたいという思いから、ガードレールや標識の設置も行うようになりました。現在は橋やトネルの整備・補修などの事業にも進出しています。新しい道路や橋を造るわけではありませんが、今あるものをより長く、安全に使えるようにする仕事に誇りを持っています。

**高速道路の遮断機を全国販売**  
遠くの現場に向く作業は、移動時間も費用も掛かります。それでも全国の道路の安全を守りたいと、橋の整備、道路用の交通遮断機などの商品を開発し、各地の事業者に販売しています。特に交通遮断機は、停電時に対応できる手動式で、



▲羽田空港への連絡橋で採用された遮断機

高速道路のインターチェンジなど、全国で採用されています。現地の作業員の胸元にカメラを取り付け、遠方から映像と音声でやり取りできるシステムも開発しました。設置作業の指導や、発注者の現場視察を遠隔で行う機会が増えています。

**地域の安全と発展に貢献したい**  
市内には、精密機器など優れた製品を作る会社がたくさんあります。製品が市外に運ばれるとき、必ず通るのが道路です。道路や橋が古くなり、穴や段差ができると、運搬中に製品が故障する可能性があります。直接製造に関わっていなくても、道路を整備することで、県外、国外に津山の素晴らしい製品を届ける手伝いができていると感じます。

また、昨年から子どもたちを対象に、交通安全教室を始めました。交通ルールや標識についてのワイズ、実物大の路面標示に触れることで、交通安全と道路を守る仕事に興味を持ってもらいたいと思っています。道路や橋は、日々の生活や物流に欠かすことができない大切な資産。整備や補修の技術を次の世代に伝え、この先も地域のくらしを守っていききたいです。

この原稿を作っている9月。市ホームページで24時間365日、皆さんの質問に自動で答えるAIチャットボットの、10月下旬開始に向けた準備を進めています。AIは皆さんの質問で少しずつ学習していきます。詳しくは12月号で紹介予定です。興味がある人は、ホームページのぞいてみてください。

5ページ近代化遺産の記事を作りながら、市内には数多くの近代建築があると実感しました。「つやま近代建築おでかけMAP」を見ると22の施設が紹介され、明治から昭和に掛けて先人たちが必死に作り上げてきたことが伺えます。今も暮らしを支える施設があり、かけがえのない資産だと気付きました。(三)

